

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年6月後半）

### 1. 経済

- ルクセンブルク国鉄（CFL）、2013年の売上高は684百万ユーロ（前年比+0.4%）、純損失は▲1.1百万ユーロ（前年は▲4.8百万ユーロ）。国内路線利用客は前年比+19%、国際路線利用客は同+12%と増加し、貨物輸送量も同+8.8%であるが、引き続き赤字。（16日付ヴォルト紙電子版）
- 2014年第1四半期のルクセンブルクにおける雇用者数は前四半期比+0.6%、前年同期比+2.4%。（17日付統計局プレスリリース）
- 欧州統計局によると、EU加盟国の物価平均を100%とした場合、2013年EUで最も物価が高い国々はデンマーク（140%）、スウェーデン（130%）、ルクセンブルク及びフィンランド（123%）、アイルランド（118%）等。（20日付ヴォルト紙電子版）
- 2014年5月の失業率は7.3%（前月は7.2%、前年同月は6.9%）。（25日付統計局プレスリリース）
- 6月の消費者信頼感指数は1（前月は▲4）で、前月より大幅に改善。同指数がプラスの値になったのは2011年7月以来。（27日付ルクセンブルク中央銀行プレスリリース）

### 2. 金融

- ルクセンブルク証券取引所、中国銀行と戦略的パートナーシップを結ぶ覚書に19日に署名。（19日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- ルクセンブルク中央銀行、中国人民銀行との間で人民元決済銀行設立に向けた協力を行う旨の覚書に28日に署名。（29日付中央銀行プレスリリース）
- ルクセンブルク・ファンド協会（ALFI）、6月30日から7月4日にかけて実施された中国及びシンガポールへの金融ミッションの際、中国証券投資基金業協会（AMAC）と協力強化に係る覚書に30日に署名。（30日付ALFIプレスリリース）
- 中国への金融ミッションに際し、グラメーニャ財務相は中国招商銀行、中国農業銀行及びオンライン決済サービスを提供するアリペイ社（アリババグループ）のルクセンブルクへの欧州拠点の設立を発表。（1日付及び3日付財務省コミュニケ）

### 3. 政府

- グラメーニャ財務相、ルクセンブルク銀行協会のプライベート・バンキング

- グループの年次総会にてスピーチ。（19日付銀行協会プレスリリース）
- グラメーニャ財務相、ルクセンブルク開催のユーログループ（19日）及びEU財務相会合（20日）に出席。（19日付財務省コミュニケ）
  - グラメーニャ財務相、ルクセンブルク開催の独語圏5か国（独、墺、リヒテンシュタイン、スイス及びルクセンブルク）の非公式財務相会合に出席。（20日付財務省コミュニケ）
  - 賃金物価スライド制に関する政労使三者協議が25日に開催され、物価スライド制の発動を年1回に制限する時限立法が2014年末に失効した後は、同制度につき新たな法律は制定しないとする政府の立場が公表。（25日付ヴォルト紙電子版）
  - ベテル首相及びグラメーニャ財務相、ハスラー・リヒテンシュタイン首相（兼財務相）と26日にルクセンブルクで会談。（24日付政府公報）
  - ベテル首相、26日から27日にかけてブリュッセル開催の欧州理事会に出席。（25日付政府公報）
  - ハンセン教育担当閣外相、国立研究基金（FNR）に対し、2014年から2017年にかけて232百万ユーロの研究開発費を支援する旨の協定に署名。（26日付教育省コミュニケ）
  - シュミット労働相及びマイシュ教育相、26日に若年者失業対策である「ユース・ギャランティ」の実施計画を発表。（26日付労働省及び教育省コミュニケ）
  - グラメーニャ財務相、6月30日から7月4日にかけて中国（北京・上海）及びシンガポールを金融ミッションのために訪問。（27日付財務省コミュニケ）
  - グラメーニャ財務相、25日にルクセンブルク開催のイスラム金融に関するフォーラムであるIFN Europe Forumにてスピーチ。（30日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。